

調査結果の概要

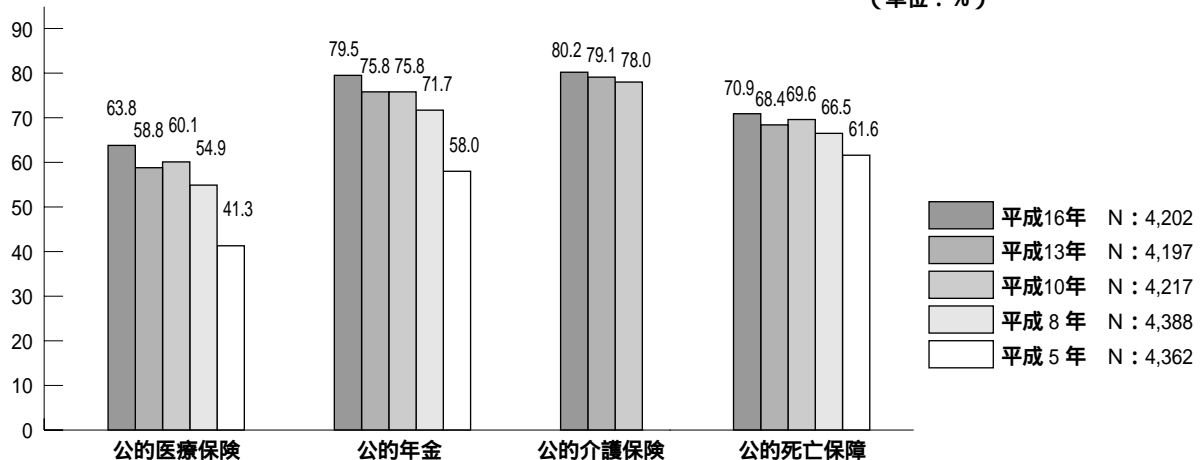
・低下する公的保障への期待

生活保障のための費用は“公的保障だけではまかなえない”とする割合が前回より増加

生活保障のために必要な費用は、「公的保障だけでまかなえるとは思わない」とした人の割合をみると、「公的介護保険」が80.2%と最も高く、次いで「公的年金」(79.5%)、「公的死亡保障」(70.9%)、「公的医療保険」(63.8%)の順となっている。いずれも増加傾向にあるが、「公的医療保険」と「公的年金」で前回より5ポイント近く上昇している。(図表1)

図表1 公的保障に対する考え方
「まかなえるとは思わない」の割合

(単位：%)



(注) 公的介護保険に関しては平成10年より調査を開始

(補) 具体的な質問内容と図表内の回答割合(%)はそれぞれ次の通り。

質問内容

公的医療保険「自分の医療費は、今後も公的な健康保険だけで大部分まかなえる」

公的年金「自分の老後の日常生活費は、公的年金でかなりの部分をまかなえる」

公的介護保険「自分が将来寝たきりや痴呆状態になった場合の費用は、公的介護保険で大部分まかなえる」

公的死亡保障「自分が万一死亡した場合は、遺族の生活は遺族年金等の公的な保障で大部分まかなえる」

回答割合

上記の質問に対し“あまりそうは思わない”、“まったくそうは思わない”と回答した割合の合計